

待 42  
459

竹生鴻  
50

東 京 圖 書 館				
一 〇	1/4	四	1/18	音 和
冊	號	架	函	書 門
			類	





竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳

竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳 竹生傳



















く其亦徳もあはれあはれと現  
しやうまを女とて隔あはれ  
あ人のこころありとて悲歌を  
うたひて見年ひらきつらう  
れ古より判書受よれたる人  
か疑もあはれそ鳥の松陰と復  
よのひあはれ舟我の人同あは

とて土壇のやびくと押ひつる所殿  
又をひきまけ弱も水子よ入と  
平白波立海の秋の此海のあはれ  
そとを捨くまはれ海は入きゆるきり  
上地  
伊敷志きりよ鳴動して日月を  
うらまきて山み端あはれとて  
ま鈴よかきりかきり此



鳴よとてしてほと教へ國と守りて  
天とわ抄りて也上身付屋かひ音樂  
かのみく花のつらつらと妻のよの月  
は暉く乙女は行くともも面白屋  
上東宮の舞樂を討らるる月と  
あつらへる海つらよ信のさくらあひ  
さつらて下家下の龍神形見しり

上地  
龍神湖よと出現してかくさるるも  
暉く金銀珠玉とわのまれ人よ指  
らねまきし方知るるまきしり  
うかまきし本よりうかまきし度け起る  
あまきし或る天女のあまきし  
まきし有縁の危生か諸般をか  
まきしあまきし下家下の龍神とあつら







明治十七年三月六日翻刻御届  
同 年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊



下京區第五組赫屋町

錦小路五梅屋町十三番戶



